

○大阪のコドモ愛護デー

一、大阪市民館兒童愛護デー同盟本部にては五月五六七日の三日間は美しく裝飾したる花自動車十數臺に子供及び同館幹部の人々附添はれて乗車市内全部を順廻し各要所にて兒童愛護宣傳ピラ及び標語ポスター等を配布せり。天氣晴朗なか／＼盛大に舉行され大に愛護デーの氣分に打れたり。

二、五月五日六日七日の三日間にわたり大人のため大舉大講演會開催委細は別紙にあり。

三、五月七日午前と午後にはわたり子供のためお伽會開催。

四、愛の花賣り(三越製白羽二重バラの花一個拾錢)

市内婦人團體の貴婦人令嬢達は三日間朝とくより市内の要所に出張花賣る事に熱心に努力され成績大に擧げり。

五、市内各幼稚園に於ても愛の花を分擔にてこの分配方に大に盡力いたしたり幼稚園の保姆も幼兒も亦家庭の人達も胸に美しき愛の花をかざし三日間

は氣持よく愛護デーの氣分に打れて愉快に遊びたり。

六、全市校園の兒童へは兒童愛護デー小ポスター及び宣傳ピラを分配せり、

○大人の爲の大舉大講演會

□五月五日(午後七時より)

□西區九條第一小學校(九條通二丁目)

「誤らざる愛」 高臺幼稚園 上々手 よし子氏

「學校の一年進級制を廢すべし」

刀根山療院長 醫學博士 有馬 賴吉氏

□西區三軒家第三小學校(三軒家上ノ町)

「愛護の本質」 大阪母親相談所 竹村 一氏

「國を愛せ、兒を愛せ」

大阪府學務課 皆 吉 質氏

□東區東平野第一小學校(東平野町七丁目)

「育兒上の注意」

大阪市立乳兒院 醫學士 川野 祐氏

「コドモの欲求」

大阪市視學 村田 次郎氏

□南區難波新川小學校(新川三丁目)

「職業の見習に健全なる基準を與へよ」

大阪市立少年職業相談所 大西 孝 羨氏

「コドモ愛護と禁酒法案」

婦人矯風會大阪支部

林 歌 子氏

□中央公會堂(中ノ島)

大阪齒科醫師會後援 兒童愛護聯盟主催

コドモ愛護の講演、幻燈活動寫真大會

「こどもの齒に就て」

東京市囁託ライオン齒磨研究所理事

齒科醫 綠川宗作氏

ペイゼント

「ボーイスカウトの一日」 實 演

大丸文化博覽會青少年少女團

□五月六日(午後七時より)

□西區明治小學校(阿波座中通二丁目)

「星のひとみ」

大阪市立市民館長 文學士 志賀志那 人氏

「子供の模倣性と創造性」

御津幼稚園長 小山ひで子氏

「未定」 大阪府衛生會 原山達三氏

□西區西九條小學校(西九條)

「本末論」 小泉澄氏

「こどもをマジメニ育てるしかた」

大阪市立少年職業相談所 稻葉幹一氏

□南區道仁小學校(南縮屋町)

「小供が子供か」

帝國ローマ字クラブ理事 法學士 加茂正一氏

「泥濘の上の高樓」

大阪兒童學會 醫學博士 矢野雄氏

□南區ランバス女學院(高津南町)

「社會と子供」

大阪市社會部 法學士 酒井利男氏

「自治」

高津中學校教諭 西川平吉氏

「玉造尋常高等小學校(森ノ宮町)」

「中學三年と小學二年」 高津中學校教諭 松本健氏

「平和思想と幼兒教育」

本田幼稚園 三宅もと子氏

「兒童愛護の精神を誤解せぬやうに」

大阪市立兒童相談所長 西居靈證氏

□第二西野田小學校(今開町)

「大阪兒童の四種類」 文學士 朝日直樹氏

「こどもごころ」

大阪市社會部 經濟學士 宇治伊之助氏

□北區菅南小學校(菅原町)

「生かすべく愛せよ」

高津中學校長 文學士 三澤 糾氏  
理想のフィルム圖書館

學校映畫協會委員 交野 宗一氏  
「活動寫真映寫」 學校映畫協會出張

□南區日本橋小學校(日本橋三丁目東入)  
「まことの愛」

大阪市立市民館主事 友谷常三郎氏  
「兒童に對する活動寫真の新使命」

大阪市收入役 澁谷祥三氏  
□北區濟美第二小學校(與力町)

「未定」 大阪市立産院長 醫學士 余田忠吾氏  
「住居と兒童」 日本兒童協會 神崎 泉氏

「未定」 大阪府衛生會 藤井秀二氏  
□東區浪花小學校(南久太郎町二丁目)

「題二つ」 大阪市社會部事業課長兼調査課長  
文學士 山口 正氏

「最近歐洲に於ける兒童の狀況に就いて」  
醫學博士 森元良雄氏

五月七日(午後七時より)  
□東區相愛女學校(本町四丁目)

「子供の創作的表現より學びたる玩具の種々」  
江戸堀幼稚園 膳たけ子氏

「山と子供」 大阪市立市民館 林學士 前田 清氏  
「兒童智力の愛護」

大阪醫科大學 醫學博士 櫻根孝之進氏  
□北區濟美第一小學校(茶屋町)

「兒童と娛樂」  
大阪市社會部 法學士 齋藤 彌生氏

「子供の齒が親の不品行を物語る」  
齒科醫 喜多見行正氏

「未定」 ドクトル 嶋村 育人氏  
□東區集英小學校(今橋一丁目)

「烈日のもとに」  
大阪市立市民館長 文學士 志賀志那人氏

「自然の力と生物の發育」  
醫學博士 緒方政次郎氏

□東區中大江東小學校(糸屋町)  
「こども王國」  
大阪市立市民館 法學士 松澤 兼人氏

「子供の能率増進に就いて」  
大阪市立市民博物館 近藤 榮藏氏

「未定」 東京お伽學校長 樋口 紅陽氏  
□大阪市立市民館(天神橋六丁目)

「兒童教育上より見たる童話の選擇」

大阪外國語學校教授 高木敏雄氏

大阪兒童學會 ドクトル 三田谷啓氏

「誰の子も私の事と思ひまじやう」

大阪こども研究會幹事 高尾亮雄氏

大阪のコードモの爲めに設けて

欲しい事業

大阪のこどもの爲めに眞面目に考へねばならぬ秋が参りました。こどもの福利を増すために差當り次のやうな事業を一日も早く設けてほしいのです。

○牛乳をこどもの月齡と強さによつて調合して與へる場所。

○子供のある家庭を訪問して育児法に就ての注意をする巡回婦。

○こどもの齒の病を治したり又豫防したりする小兒齒科院。

○こどものうち窮困のものへ食事を與へること。

○重病後のもや、轉地を必要とするこどもの爲めの兒童保養所。

○兒童専用の遊園地。

○兒童が四季を通じて泳ぐことの出来る水泳館。

○優秀のこどもを教育する學校。

○身體の弱い學童を收容する常設林間學校。

○異常兒童を適當に教育する機關。

○こどもの虐待を防止する爲めの事業。

○こどもの娛樂を適當に指導する設備。

○母親の爲めにする育児學校。

○兒童研究所。

○コードモの爲の活動寫眞館。

○兒童相談所。

## ○京都の子供愛護宣傳

子供愛護宣傳事業經過概要

### 一、標語の募集

應募總數約八百内入選一等一、二等二、三等三、選外佳作に四十六を採つた。之を各新聞紙で發表した外ポスターや宣傳ビラに摺り込んだ。

### 二、ポスター宣傳

ポスター二千枚を作つて市内各學區竝に家庭博覽會其他に配布した。

### 三、ビラ宣傳

宣傳ビラ四十萬枚を市内各家庭に配布した外飛

行機で撒いた。ピラには五、六、七の三日間毎日異つた標語を入れた。

#### 四、自動車宣傳

五、六の兩日午後一時より三時迄三臺乃至五臺の飾り自動車を出し市内各所を巡つた。七日は雨のため中止。

#### 五、飛行機宣傳

安井飛行家によつて七日午前九時飛行機を飛ばし市の上空各所でピラを撒いた。

#### 六、中央大講演會

市公會堂で五日午後一時から京大齋藤博士の外田中淇陽學校長、脇田白川學園長を講師として有益な大講演會を開いた。聴衆二千餘名頗る盛況を極めた。

#### 七、活動寫眞映寫

五日午後の公會堂大講演會に引續き文部省推奨の幼少年保護活動寫眞を映寫した辯士ヒルム共に東京から招いた。

#### 八、通俗講演會

五、六、七の三日間毎日六ヶ所合せて十八ヶ所で開いた。會場は市内の各小學校で講師は一ヶ

#### 九、お伽會

所二人づゝ合せて三十六名、學者、教育家、宗敎家、醫師、官公吏、新聞記者、經驗に富める貴婦人等各方面の方々。聴衆は何れの會場も多數で盛會であつた。

五、六、七の三日間毎日六ヶ所合せて十八ヶ所何れも晝間市内の各小學校で開いた。講師は一ヶ所二人づゝで京都お伽會、子供協會、宗敎の各日曜學校等から夫々其道に達した方に願つた、何處の會場も花の様な可愛い子供が溢るゝばかりであつた。

#### 一〇、母の會

市内多數の小學校で思ひ／＼に開かれた。

#### 一一、説敎宣傳

市内多數の寺院敎會等で夫々盛に行はれた。或所では夜間に辻説敎も行はれた。

#### 一二、賣花宣傳

白羽二重花形ピン附愛護徽章二萬を作つて各學校の敎職員を始め中等各學校生徒各同窓會婦人會大商店等に豫め賣り擴げた外に市内繁華の場所二十六ヶ所を選び幼稚園保姆特志の婦人宗敎

學生等約百名で立賣をした。

### 一三、劇場宣傳

市内各警察の好意で各劇場寄席等に標語を掲示したり落語講談其他で何れも子供愛護の言葉を含んだりしてもらつた。

### 一四、店頭裝飾

大丸、高島屋其他の大商店ではウインドウの裝飾を四條通、新京極等では提灯を出したり特別のポスターを作つて店頭に吊つたりして景氣を添えられた。

### 一五、家庭博との連絡

参考品陳列の積りであつたがこれは時が迫つて面白い参考品の蒐集が出来なかつたため中止したが家庭博では三日間標語の掲示自動車の應援等多大の援助を與へられた。

子供愛護標語當選者

#### 一等

京都市小川通今出川下ル百々方

七つの藏より子は寶 野村藤吉

#### 二等

京都市今熊野劍宮

美服の帶で自由を縛るな 來代南津

京都市八條室町西入

誰の子も私の子だと思ひませう 樋口よし子

#### 三等

京都市泉涌寺西田方

愛せよ圓く育てよ強く 中西善一

京都市五條大宮西入

産む時の心で育て愛護せよ 杉野準三

京都府女子師範學校内

一、愛 二、敬 三、自由 麻生優香子

### ○神戸の兒童愛護宣傳

の概況を

約八十四團體から成る神戸の兒童愛護聯盟は三月四日に成立した。

五月五日の豫定であつた愛護宣傳は英皇儲御來神のために六日、七日と定められた。

計畫

一、自動車宣傳

一、電車宣傳

一、花電車の運轉。電氣裝飾

一、宣傳ピラ配布(其の枚数は七萬枚)主として小學

校及幼稚園の子供達に前日乃至前々日に持ち歸らしめ其の他は當日自動車や電車で配布した。

一、ポスター(其の數約千五百枚) 是は數日前から市内の要所へに貼り出して置いて出来る丈多くの人にこの意味を紹介することにした。

一、愛護の花を造つてこれを賣る。

三萬七千個の花は市内各女學校の生徒及び婦人の團體の厚意に依りて造られた。花は白と時色それに當日宣傳する人々のために青いのを造つた。青花をさした人は特に電車の無賃乗車を許された。

一、こども愛護の標語大正十一年三月一ぱいの締切りで募集した標語は二千餘に達した夫を審査して左の句を得た。

一等、愛で太らせ日で焦せ

二等、子實磨けば國光る

三等、一にいたはり二にこやかに三にささとして

四にしかれ。

これらの標語はピラやポスターに印刷せられ且各商店の裝飾に利用されてあつた。

宣傳當日の概況。

第一日……六日

自動車宣傳、愛護のポスターと裝飾を施した三十六臺の自動車は大倉山を基點に市内の各目抜の通りを樂隊と共に一週した此時間約三時間。

電車宣傳、電車は市内の各線を手分けして車内乗換場所を利用して出来る丈多くの人に宣傳のピラを配布した。

電車は愛護の旗を交叉し車内はピラやポスターを貼つて花電車と共に人目をひくに充分であつた。

講演會 聯盟の主催十二ヶ所

講師は宗教家教育家齒科醫社會事業家など

の寄附講演

この外篤志家の獨立の催が數ヶ所であつたその内には基督教佛敎などの宗教方面の人々の講演もあつて何れも盛んであつた。

花賣り 市内目抜の數ヶ所に於て各女學校と各婦人の團體が盛に標語のカードのついた花を賣つた婦人達のうちには可愛らしい子達をつれて出かけられて一處に賣られた方もあつた賣れ行きは飛ぶ様で當日の模様では五六萬の數は樂に賣れさうに考へられた位であつた。殊に前日は英皇太子の御來神があつて

市中の賑ひ一方ならず花の少きを惜んだ。

提灯行列。夜は青年團の催で大通りは提灯行列をし、てこの日の意味に印象を深くした。

第二日——七日 聯盟の主催六ヶ所、篤志家の獨立の主催數ヶ所。

音楽、喜劇、手品、おどぎばなしなど全く子供の喜び樂しむものゝみをして非常な盛會であつた。

自動車講演 四五臺づゝの自動車が各方面に分れて至る所でこの日の意味を徹底させるためにおもひ

おもひの講演を試みた。

これ等の催しの外に特に加筆すべきことは兒童愛護の意味を或る方法でもつて最も手近かに實現するために特に或る方面の兒童や各保育所の兒童達を自動車に乗せて慰安したことである。日頃自動車の音を聞いてもほこりを見ても一種不快の感じを持ちつゝ子供にありがちな好奇心を以て見て居るため時には自動車を目掛けて石を投げる様なこともあるので此機會に於て彼等を満足させ自然によき方面へ向けたいと云ふ考へから別に二十餘臺の自動車の寄附をあふぎ三日間に互り日頃羨望のみして居つた子供をこれに乗せた。子供は第一日に番町の方面の兒童

九百名第二日楠。藥仙寺、八王寺、八幡、矯修會、鐘紡の各保育所とその附近の子供であつた、何れも我を競つて集つて来て大満悦で散じたその數は千八百七十名であつた。第三日は前二日に乗り得ざりし孤兒院其他の兒童を乗せた。

この主意に賛同しこの催に賛成して各方面の會社、商店、工場及び一般の市民の好意は非常なものであつた各新聞は前後十日餘りは兒童問題をもつて紙面を埋め世人の注意を喚起することに努めた。電氣局は各所に電氣裝飾をして美觀を添へることにつとめた。

大小百餘の工場はこの二日間愛護の警笛をふき鳴した。公園其他目拔の場所のイルミネーション、愛護

のアーチと色々の催は愛護宣傳のために一入の活氣と美觀を加へて一般の人の注意を惹くに至ることが出来た。

この催は内容に於ては子供に直接慰安を與へかつ又保護者や關係者一般人にこの意味の了解を俟つことの出来たことゝ、更に團體の協同活動の自覺であつたことである。

感想。

い、其效果あり且よかつたと思ふた事は。

1、日頃乗り得ぬ子供を自動車にのせて楽しませた事。

2、お伽講演で児童を樂しませたこと。

3、教育家及其他の有志家が自動車上から趣意を話したこと及各講演。

4、ピラよりも旗の方がよく持たれ且讀まれたこと。

ろ あまり感心しなかつたことは。

1、壯觀には違ひなかつたが三十餘臺の自動車を列ねて走つたこと。

2、自動車上よりピラをたまにまく人のあつたこと。

特に感謝すべき事は。

1、市電氣局が各イルミネーション及各所に夫々の裝飾を施されたこと。

2、縣保安課を始め各警察署がよく保護せられたこと。

3、市内有志家が奮つて自動車又は會員を寄附せられたこと。

4、婦人團體、公私立の女學校が今回の財源たる造花及販賣に盡力せられたこと。

5、各新聞社、市社會課、教育課、小學校幼稚園保育所青年團が協力して各方面に盡くされたこと。

以上

最後に御參考までに新年（大阪時事新聞五月十日朝刊）記事の一節を御覽に入れます。

○自動車七十八臺に千八百人

の子供を

谷掌して親が拜んだ

神戸市の子供愛護デー

大阪と呼應して六、七、八の三日間神戸でも子供愛護日が催されたが、之に携はつた多くの篤志者の内今更らしく子供を愛せよ敬せよなど、人から傳言のやうな事を觸れ廻らなくとも、直接に此の日には、平常親の愛護の下に金持から自働車を七十八臺驅り集めた。

そして番町貧民窟の子供九百人新川矯修會の子供百人、八幡、藥仙寺、八王寺、鐘紡各保育所及孤兒院を合せて總じて約千八百七十人程のプロレタリアの子供を愛護デーの三日に互つて順次に自動車に分乘させ「子供は國の寶也」「愛せ、尊べ、日に集せ」などを染め抜いた小旗を手々に振り翳させて全市を練り廻つて遊ばせたので、是等の子供達は神戸中を乗つ取つた如く有頂天になつて喜んだ。

殊に番町貧民街の子供は自動車を見ると悪罵しつゝ、石を投げつけて何と云つても肯かなんだが、よその金持共が乗るものと許りかたきのやうに思つてゐた自動車が此の日ばかりは我物になつてらくらくと乗れるので度を失つて歓聲を擧げた。

又新川では、一生涯自動車には乗れぬと思つてゐた親達の目先きへ、やすやすと自動車が驅け込んで来て、彼等の子供達を乗せて呉れたので、大勢の親達が黒山のやうにたかり、皆々自動車に乗つた我子に向つて手を合せて拜んだ。かうして神戸では千百人のアロノタリアの子供達が三日の間満足の日を送る事が出来た。之を世話した人は附近小學校の先生や教育關係者、青年團、金持などであつた。

## ○岡山の児童愛護デー

### 児童愛護デー舉行趣意書

児童は國民の後繼者個人の相續者であつて、國家の將來は一に児童の如何によつて定まり、吾人の未來は児童によつて永遠に續くのであるから児童を強く賢く、且つ善良に育てることは、児童自身の爲であり親の爲であり將又國家社會の爲であります。

然るに現代に於ては児童を輕視して非教育的なることが多く或は玩弄視し、甚しきに至つては虐待さへして居ります。児童には児童の心理があり、其身體は大人と違つた點が多く而も心身共に極めて盛な

る發達をなしつゝある時であるから充分なる保護を加へて育て且つ教へなければ其の天賦の資質を伸すことが出来ません。

吾人は種々なる社會問題中、先づ兒童問題に留意して、其の福利増進を企圖しなければならぬと思ひます。是を以て下記團體は聯盟して五月二十、二十一日の兩日「児童愛護デー」を舉行し、左記の事業を實行し児童愛護の思想を宣傳しやうと思ひます。大方の士は此舉に賛成せられん事を切望します。

### 舉行事業

- 一、印刷物の配布
- 一、児童文藝大會
- 一、児童愛護に關する活動寫眞會
- 一、母親のための講演會 講師 久留島武彦氏
- 一、お伽講演會 同
- 一、健康兒共進會
- 一、臨時兒童健康相談所
- 一、愛の花販賣
- 一、自動車宣傳
- 一、各郡市町村に於ては夫々適當なる方法を以て

兒童愛護の趣旨を宣傳する様依頼すること

一、各寺院教會に於ては兒童愛護の精神を鼓吹する説教を爲す様依頼すること

一、商店に於ては兒童中心の店飾を爲す様依頼すること

一、兒童健康相談所、林間學校、日曜學校、保育園、子供會、圖書館等は聯合して此の運動に參加する様依頼すること

一、劇場、寄席、活動寫眞常設館に於ては適當なる方法を以て兒童愛護觀念を普及せしむる様依頼すること

岡山縣社會事業協會

岡山縣教育會

岡山市教育會

主 催 愛國婦人會岡山支部

岡山兒童學會

吉備保育會

山陽新報社

後 援 中國民報社

岡山新聞社

我岡山市兒童愛護デーは、去る五月二十日二十一

日の兩日に行はれた其概況は次の通りであります。

第一日の情況

兒童デー最初の催し物たる久留島武彦氏のお伽講演會を深抵小學校の講堂にて各學校二年以下の兒童に聞かじめ、終るや更に市内幼稚園に於て同様の會が催された。

午前九時二十分より女子師範附屬幼稚園にて伯西幼稚園と合併、同十時より出石幼稚園にて深抵幼稚園合併同十時五十分より内山下幼稚園に於て旭東幼稚園二葉幼稚園の二園合併十一時五十分より清輝幼稚園。

順序は右の如くで各園に集まつた晴々しい幼兒の顔そこには總ての社會から總ての人間の苦から、かけはなれた天使そのものゝ美しさが宿つて居た久留島先生の其名が彼等の記憶にあらうが。あるまいが唯先生の眞實な愛護の態度且身振話の内容それが彼等の直接の目的で有、小さい心の總であつて、既に嬉しい夢に酔ふて居つた、お話は(犬の話)(よい爺さんと悪い爺さんの話)(猿兎ひきの話)限りない彼等幼兒の智識慾は話からくる、驚きと珍しさが充分に満足され規定の時間が終つて各兒歸園愛護の標語

を染抜いた國旗をかざして行列をなし嬉々として歸る。

尙正午より女子師範附屬幼稚園にては園児七十名を自動車に分乘させて勇ましい宣傳が始まつた。

又一方には(愛の花賣)胸に斂めた愛の表象に人々の人は正しい愛護の信念を籠めて市内各所を賣りにあるいた。

午後から深抵學校講堂にて市内各校共同の文藝大會開催に盛會なりき尙活動寫眞、意義多き活動の訓へ『其他母の會』。

午後八時より旭東幼稚園で母の爲に久留島先生の講演會が開かれ(疑ひの子供)に付て子供持つ母の胸に明るい光明を與へた。

第二日(二十一日)

午前八時より深抵小學校講堂にて各學校兒童の爲に久留島武彦氏の講演會を開き又一方には宣傳が始まつた。

子供等が歌ひ湧いてゐた太鼓宣傳は來た午後二時市内各町から太鼓歌面白く深抵校に向つて押寄せた時現はれざる偉大な力は身逸かされなかつた幾百旗の旗には各町名を記し可憐な兒童が曳き行く屋臺に

は躍動を音律に秘めた大太鼓が打ち下ろす一撃毎にうなつてゐた。一同深抵校に集まつた各町を経て市役所前に集合して各自町内に向つて歸散した。

其他健康兒共進會、豫選に加はつた總數二百十九人であつた。

第二日 母の爲の講演

同廿一日午後八時から深抵小學校の講堂に於て開催された。定刻前三樹社會課長の開會の辭に合せて所感と希望を述べられ次で久留島先生(藤元整理)と題して子女教育竝に家庭整理に關する必須の事項を述べられた。聽衆は市内各地の婦人を以て満たされ愛護デー最後の幕を閉ぢるべく甚だ盛會であつた。

今回の兒童愛護デーは最も初めのことであるから慥に有意義なる效力を收めたものと思ふ殊に久留島先生の誠意を以て述べられた講演は多方面に互り慥に燈明臺となり大小内外に改訂すべき餘地を與へられた云々。

### ○福岡市の幼兒愛護宣傳報告

(荻野ひさ子氏報)

福岡市に於ける宣傳は私立福岡幼稚園私立舞鶴幼稚園同南博幼稚園の三園が主催となりまして、それ

に福岡日日、九州日報の二大新聞が後援されました。五月八日同十日の二日間宣傳をいたしました。

豫定は全國一般と同じ日に舉行する筈で有りましたけれども福岡幼稚園も舞鶴も園舎新築工事中でしたから已むなく日程を延期いたしましたのは残念でした。

宣傳方法としては、第一日の八日午前中は自動車二臺で壹萬枚のビラを市内隈なくまき散らしました午後一時から貳百名の園児が主となりまして旗行列をいたしましたそれに各幼稚園出身の市内各小學校生徒と其兄さんや弟さんそれとお友達の関係ある兒童が參加しましたので準備して居た貳千五百本の旗は午前中に渡し盡しまして正午過ぎに參加申入りの四百以上の分は有合せの日の丸の小旗を出すの已むなき有様で聊か準備上に失態を致しました何分參千に近き幼兒が行列するのは初めての事で有りますから第一に道程の事から其他種々ご主催者側でも心配をして居りましたが。

幸に市内看護會の有志者から九名の正装した看護婦を救護班として出して下さいましたそれに大學の小兒科から四名のお醫者様も出て下さいました又桃

太郎會會員(福岡幼稚園保育終了兒の會)の桃太郎さんで大學生及其の他の桃太郎さんは可愛らしい後輩の爲めに兄さんとして行列に參加又は辻々の監督其他に働いて下さいましたから父兄も主催者も子供の心配は少しもいたしませんで安心して親も子も皆ニコニコと樂し氣に旗を手に手に振りかざして數十町を練り行きました前のお約束は歩ける迄歩いて歩けないときはお附添の人に負ぶしてよろしいと決まつて居ましたけれども二百の園児に歩けないと云ふ子供はタッタ一人でした尤も此子供は最幼年兒です最終の集合所は女子高等小學校の新らしい氣持のよい雨天體操場でした園児は此處で暫らく休ませまして退散させました元氣の盛んな百名計りの子供はいろ／＼と活動して喜んで遊んで居ました四時に退散しました。

第二日、十日午後七時半から市紀念館と云ふ大館で講演會を開きました。

講師は九大の荒川(文六)工學博士と 伊東(祐彦)醫學博士とで。

荒川博士は幼兒愛護の眞意義と云ふ題下に最も懇篤に眞の愛護につきてお話し下さいました。